

ライフサイエンスで活躍する生きものたち

—マウス、魚、植物、酵母、培養細胞、研究者—
どのように使われ、何がわかるのか？

2022年7月16日(土)13:30～

オンサイトおよびオンライン同時配信

対象 高校生向けですが、どなたでも参加して頂けます
場所 伊藤謝恩ホール（東京大学本郷キャンパス内）



現地参加登録フォーム

定員 100名 締切 7/12(火)
<https://forms.gle/B4benULWMJddYjcY8>

※現地参加は高校生を優先します
※会場内では感染症対策を行っています。ご理解・ご協力をお願いいたします
※感染症流行状況に応じ、主催者の判断によりオンラインのみに変更する場合があります



Zoom参加登録フォーム

定員 500名
<https://forms.gle/GpZ7q8zeE2J443jY8>

事前登録制
入場無料

生物学や医学を含むライフサイエンスでは、さまざまな生物が研究に使われています。マウスはもちろんのこと、酵母や魚の研究によって体のしくみや病気の原因が解明されることもあります。私たちのグループは、いろいろな生物を使って「オートファジー」などの細胞内分解について研究しています。このシンポジウムでは、それぞれのモデル生物にどのような特徴があり、その研究からどのようなことがわかるのかをわかりやすく説明します。そして、生物の秘密を解き明かす生物、すなわち研究者の実態についても紹介します。後半は、パネルディスカッション形式でみなさんからの質問にお答えしたいと思います。

(東京大学医学部・大学院医学系研究科 教授 水島昇)

ライフサイエンスの研究に興味があるみなさん、お待ちしております！



パートⅠ 13:30 - 15:50

	13:30 - 13:35	はじめに	水島昇
	13:35 - 13:55	マウス 哺乳類の研究の定番	江口智也
	13:55 - 14:15	小型魚類 育てやすく観察しやすい	森下英晃
	14:15 - 14:35	培養細胞 体の外でも生きている	本田郁子
	休憩 15分		
	14:50 - 15:10	酵母 細胞の理解に大活躍	山本林
	15:10 - 15:30	植物 地球と研究を動かす支える	齊藤知恵子
	15:30 - 15:50	研究者 謎解きの主役の実態は？	水島昇
	休憩 15分		

パートⅡ 16:05 - 16:45 パネルディスカッション

司会：水島昇

パネリスト： 江口智也 森下英晃 本田郁子 山本林 齊藤知恵子 境祐二



会場までのアクセス <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400002642.jpg>

会場にお越しのみなさまには以下のことをお願いします。

- ・受付での検温
- ・健康情報自己申告書の提出(当日の体調の申告)
- ・会場内での常時マスク着用
- ・人との距離を保つこと(会場は定員 396 名のところ、スタッフを除く参加者は最大 100 名としています)
- ・シンポジウムの 2 週間前からは感染リスクが高まる行動を避けるなどの注意をお願いいたします
- ・シンポジウム終了後 2 週間以内に、新型コロナウイルス感染症と診断された場合は主催者にご報告下さい

以下の方は会場には入れません。

- ・37.5℃以上の発熱がある方
- ・新型コロナウイルス感染を疑う症状のある方
(最近の息苦しさ、味覚・嗅覚障害、せき・たん、喉の痛み、だるさ、吐き気、下痢など)
- ・新型コロナウイルス感染症に罹患し回復していない方、およびその濃厚接触者
- ・14 日以内に海外渡航歴のある方(ただしワクチンを 3 回接種している場合は除く)
- ・自宅隔離の対象となっている方

※東京大学活動制限指針によってはオンラインのみの開催となる可能性があります